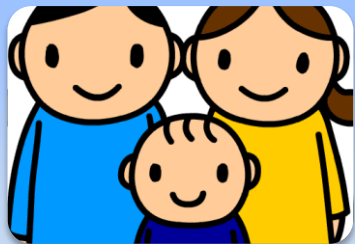


# 発達障害のある児童生徒のための 教材・支援機器の活用

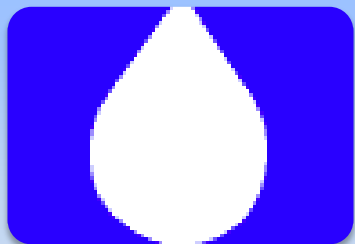
国立特別支援教育総合研究所

金森克浩

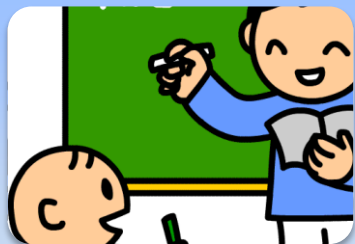
# 学びを支えるための3つのポイント



社会参加と自立



コミュニケーション支援



学びの楽しさを知ること

# 教材・支援機器を考える上での2つの軸

	アナログ	デジタル
市販	(メリット) 品質が安定する	(メリット) 確実に手に入る
	(デメリット) 子どものニーズに合うものがない場合がある	(デメリット) 高額である
自作	(メリット) 手軽に作れる	(メリット) 障害に合わせて作ることができる
	(デメリット) すぐ壊れる	(デメリット) 技術を必要とするので誰かが作れるわけではない

大切なのは何で教えるかではなく  
何をさせたいか

ねらいを明確に

指導は柔軟に

機材はシンプルに

# 特性やニーズに注目した 教材・支援機器の活用

◆聞くこと

◆運動や姿勢

◆話すこと

◆日常生活動作

◆読むと

◆不注意による困難

◆書くこと

◆多動・衝動性による困難

◆計算すること

◆社会性・コミュニケーション

◆推論すること

# 「聞くこと」を支援する教材・支援機器

## ●ICレコーダー

- 聞くことが苦手な子どもは、耳から入る情報を即時に処理することが苦手。
- ICレコーダーを使うと、録音して後でゆっくり聞いたり、録音した音声データを音声認識のソフトでテキストファイルに変換し、文書として保管したりでき、また、その文書を読み上げることも可能になる。



# 「話すこと」を支援する教材・支援機器

## ●VOCA(携帯型会話補助装置)

- 言葉による意思伝達がむずかしい児童生徒でも、文字盤での文字を選択して意思を伝えることができる。
- 最近ではタブレットPC用のソフトも多数出ている。



# 「読むこと」を支援する教材・支援機器

## ● デジタル録音図書

- 紙の本を見て読むことが困難な児童生徒のために音声で読みあげる録音図書がある。
- 国際的な規格であるDAISYといった形式の録音図書が普及してきている。
- 教科書バリアフリー法により、この他にも様々な形態のデジタル録音図書が出てきている。





# 「書くこと」を支援する教材・支援機器

## ●筆記補助具

- 手指の力の調節等がうまくできない子どもの書く作業を支援する筆記具。
- 手指の力の調節や指先の感覚がうまくコントロールできない場合に活用することが有効な場合がある。



# 「計算すること」を支援する 教材・支援機器

## ●数について考える力を養う教材

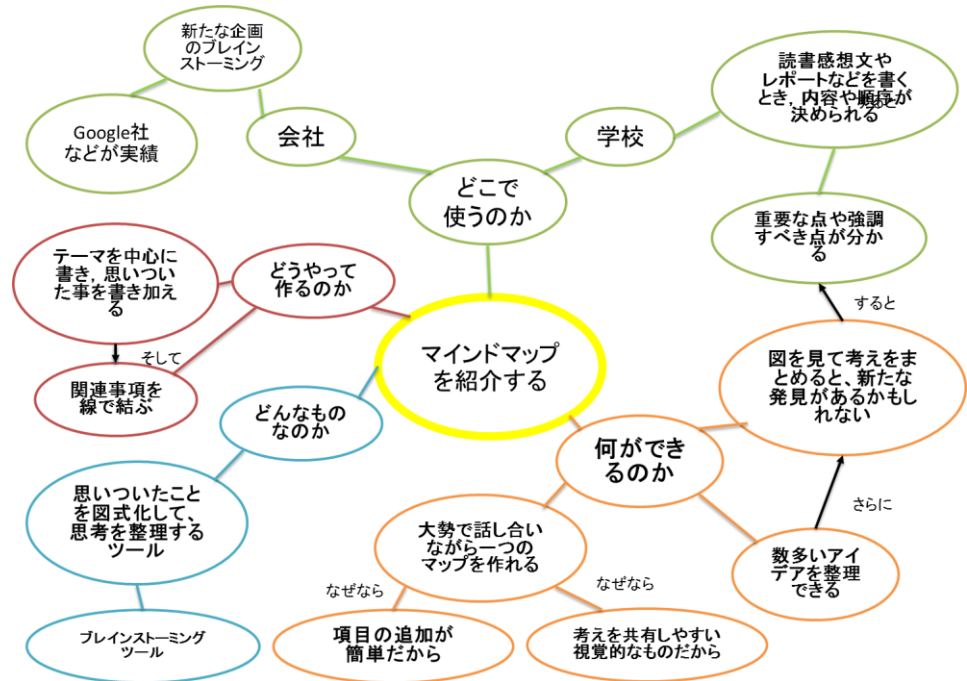
- 数の学習につまずきを示している子どもに向けて作成されたプリント教材。
- 大判で書き込み方，書く量の工夫がされている。



# 「推論すること」を支援する 教材・支援機器

## ● マインドマッピングソフト

- 考えをまとめるのが苦手な子どもに考えやアイデアを図解して示すことで、思考や考えをまとめたり理解や記憶を助けたりするソフトウェア。





どこで  
使うのか

会社

Google社  
などが実績

新たな企画  
のブレイン  
ストーミング

学校

読書感想文や  
レポートなどを書く  
とき、内容や順序が  
決められる

重要な点や強調  
すべき点分かる

マインドマップ  
を紹介する

どうやって  
作るのか

テーマを中心に  
書き、思いつ  
いた事を書き加える

関連事項を  
線で結ぶ

そして

どんなもの  
なのか

思いついたこと  
を図式化して、  
思考を整理する  
ツール

ブレインストーミング  
ツール

何ができ  
るのか

大勢で話し合い  
ながら一つの  
マップを作れる

項目の追加が  
簡単だから

なぜなら

考えを共有しやすい  
視覚的なものだから

なぜなら

図を見て考えをま  
とめると、新たな  
発見があるかもし  
れない

すると

数多いアイ  
デアを整理  
できる

さらに

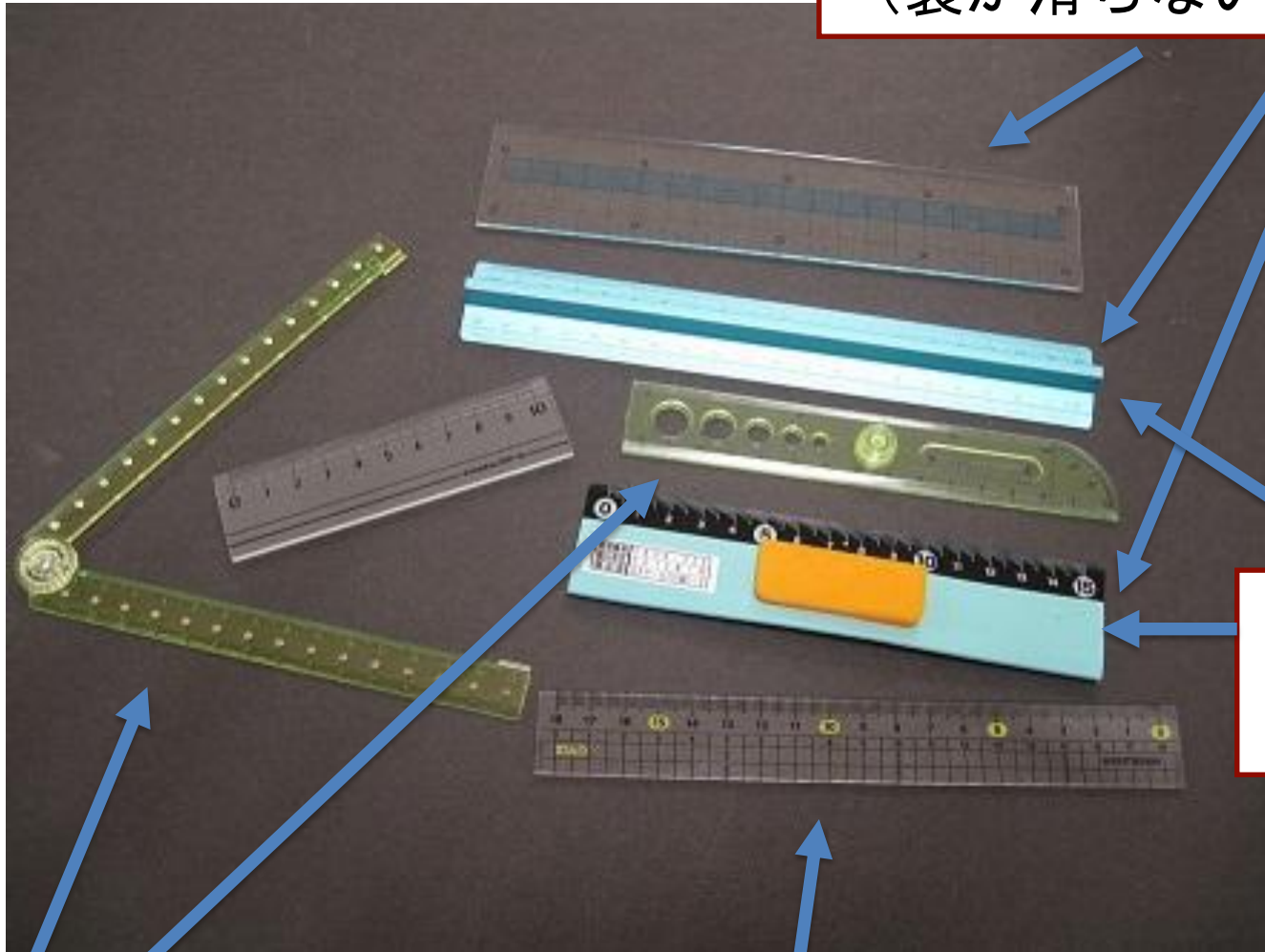
# 「運動や姿勢」を支援する 教材・支援機器

## ●工夫された定規

- 滑りにくい定規, 持ち手のある定規, 円を描くことができる定規, 両側から目盛のある定規, 角度を測ることができる定規などがある。
- 図形の課題に取り組むことが難しい, 手先の巧緻性に困難がある子どものための補助具。



滑りにくい定規  
(裏が滑らない材質)



持ち手の  
ある定規

円を描くことができる定規

見やすい目盛りがある定規

# 「日常生活動作」を支援する 教材・支援機器

## ●見通しが持てる時計

- 時間の概念の理解が困難で、活動の見通しを「目で見える形」にして理解させる支援機器。



# 「不注意による困難」を支援する 教材・支援機器

## ●ノイズキャンセリングヘッドフォン

- 周囲の音に対して過敏で、混乱してしまう子どもに対し、ヘッドフォン型の防音保護具を使用することにより、より混乱の少ない環境ができ、心理的安定が図れる。





# 「多動・衝動性による困難」を支援する 教材・支援機器

## ● 多動・衝動性をコントロールするためのゲーム

- 注意を集中し、落ち着いて取り組むことが勝敗につながるゲーム。
- 自分の行動が勝敗に結びつくことがわかりやすいため、行動をコントロールすることを学べる。



# 「社会性・コミュニケーション」を 支援する教材・支援機器

## ●社会性を高めるためのカード型教材

- 一日の生活の絵カードから場面や状況の認知，文脈や相手の気持ちの認知，社会的な常識の理解と問題解決など，社会生活を送る上で身につけておくべきことについて学習できる。



大切なのは何で教えるかではなく  
何をさせたいか

ねらいを明確に

指導は柔軟に

機材はシンプルに

# 発達障害のある児童生徒のための 教材・支援機器の活用

終わり

国立特別支援教育総合研究所

金森克浩